



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

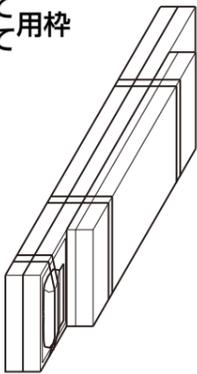
■取付け上のお願

- 壁厚・畳寄せ幅などの納まりにより、枠をカットする場合があります。詳細は、下記に記載してありますので、ご覧ください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを、使用してください。締付けトルクが強すぎるとねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」又は、ノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 施工時の建具養生の際はダンボール・ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ・養生テープなど)を建具表面に直張りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたりテープの粘着剤が付着してとれなくなることがあります。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品。

二枚建て
用枠
四枚建て



	枠			ねじ部品セット
	鴨居	敷居	縦枠	
二枚建て・四枚建て	1	1	2	1

■ねじセット

対応機種呼称	取付け用ねじ DN65φ3.8×65 (入数)	組立て用ねじ 皿小ねじM4×50 (入数)
1620、2520	24本	8本

■開口部の作り方

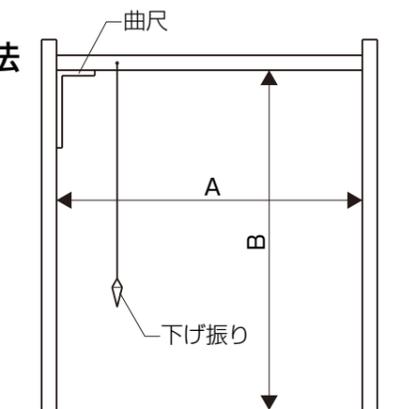
■開口寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+5mm
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

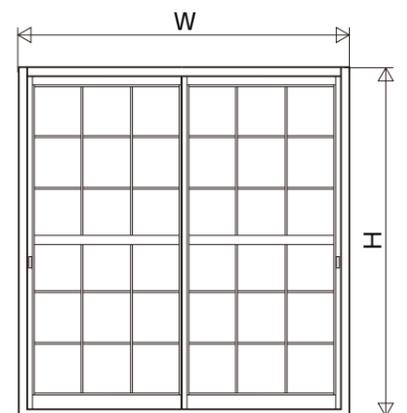
〔在来用〕 (単位mm)

呼称	W	H
1620	1644	2038
2520	2556	2038

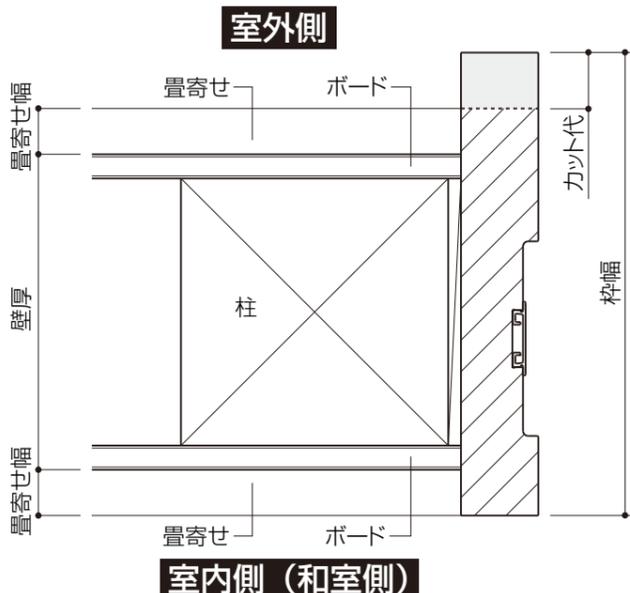
●開口寸法



●製品寸法



■壁厚に対応する枠幅の使い分け



■間仕切り枠壁厚対応表

〔在来の場合〕

〔2×4の場合〕

柱	105mm角				120mm角				89mm			
	9.5		12.5		9.5		12.5		9.5		12.5	
壁厚	124		130		139		145		108		114	
畳寄せ幅	12	18	12	18	12	18	12	18	18	12	18	
縦枠見込み幅	149	182	182	182	182	182	182	182	149	149	182	

※縦枠見込み幅○印のものは、枠のカットが不要です。その他はカットが必要です。

(単位mm)

畳寄せは、定尺材(別売)の幅12、幅18のいずれかを使用してください。

■取付け順序

1 取付け向きの決定

2 部材の加工

3 枠の組立て

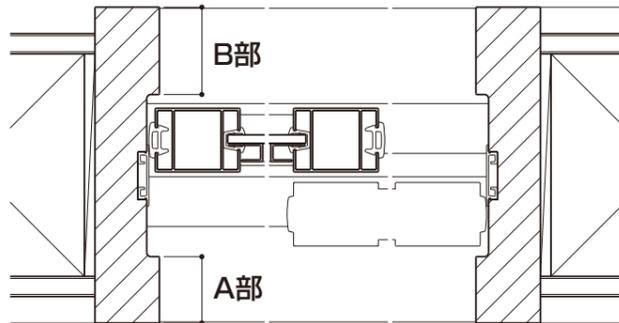
■取付け詳細

1 取付け向きの決定

…お願い

※間仕切り枠には取付け向きがあります。

●間仕切り枠の取付け方向は縦枠A部が和室側となるように取付けてください。その際、本体は和室側が表面（格子側、本体戸首加工側）となるように建込んでください。

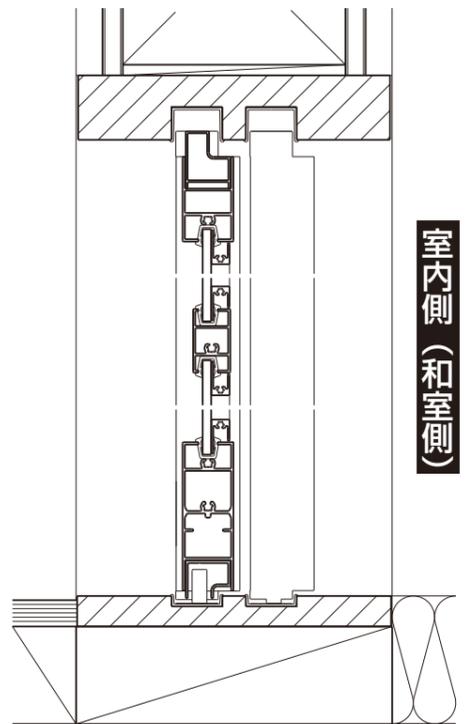


室内側（和室側）

A部<B部

（※枠見込み幅カット前寸法にて）

※本体を表裏逆に建込みますと障子を閉めた際に、縦枠にあたり戸じゃくり部まで完全に閉まらなくなります。

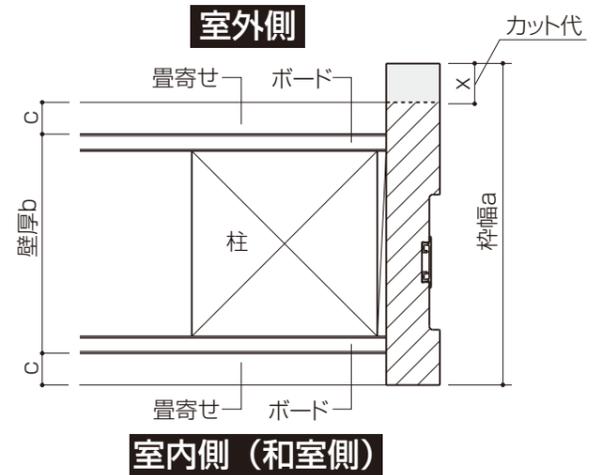


2 部材の加工

① 枠見込み幅のカット

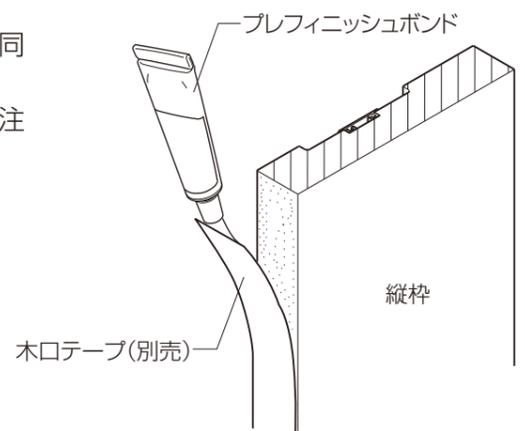
「間仕切り枠壁厚対応表」でカットが必要な場合は鴨居、敷居、縦枠の室外側の見込みをカットします。

$$\text{カット代}(x) = \begin{matrix} \text{枠幅} & \text{壁厚} & \text{畳寄せ幅} & \left[\begin{matrix} \text{木口} \\ \text{テープ厚} \end{matrix} \right] \\ a & - & b & - & c \times 2 & + & \left[\begin{matrix} \text{木口} \\ \text{テープ厚} \end{matrix} \right] \\ \left(\begin{matrix} 149 \\ 182 \end{matrix} \right) & & \left(\begin{matrix} 12.4 \\ 18.4 \end{matrix} \right) & & & & 0.5 \end{matrix}$$



② カットした枠の木口には、別売りの和障子枠用木口テープを同梱の接着剤（プレフィニッシュボンド）で接着します。

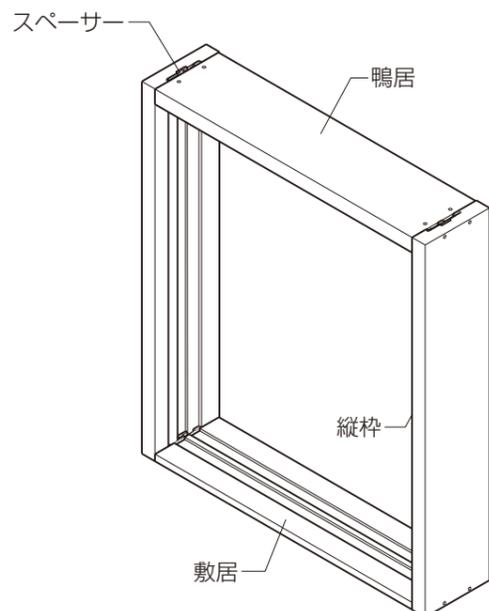
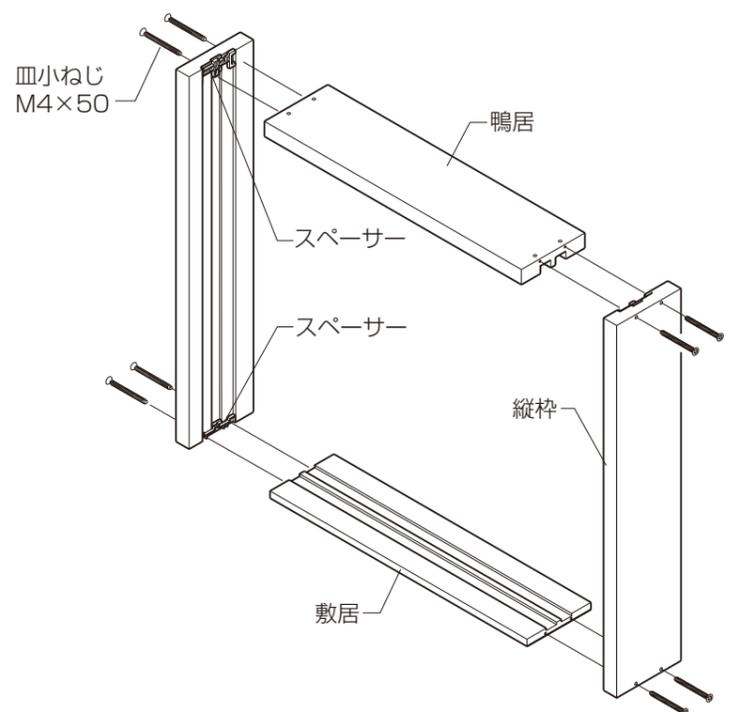
※プレフィニッシュボンドは、つけすぎではみ出さないように注意してください。



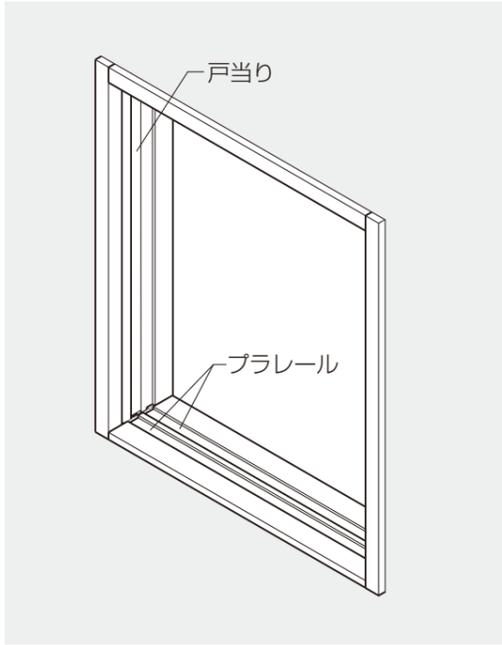
3 枠の組立て

●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50）で固定します。
※組立ての際、鴨居・敷居のレール溝が、縦枠に付いているスペーサーの溝部の位置と合っているか、確認してください。

●二枚建て、四枚建て枠



4 枠の取付け



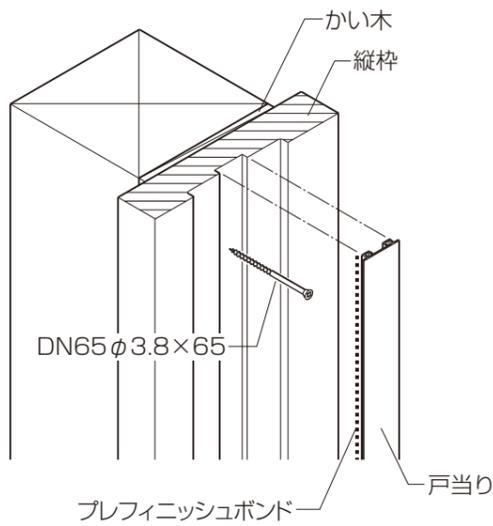
4 枠の取付け

①開口部と縦枠、鴨居の間にかい木を入れて取付けます。取付けには、DN65φ3.8×65を使用します。縦枠は、ねじで固定後、戸当りに同梱の接着剤(プレフィニッシュボンド)をつけて、戸当り溝をふさぎます。

※枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどないようにしてください。

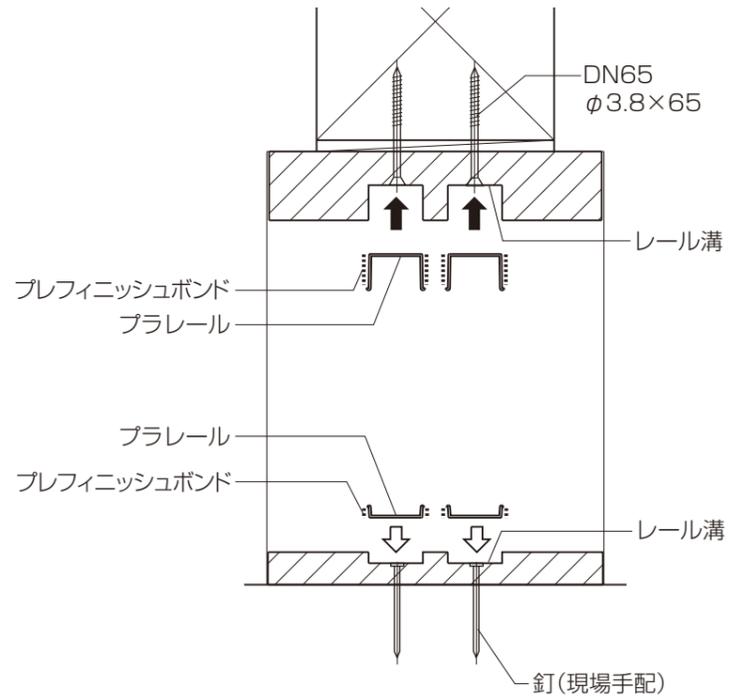
※枠取付け後、引戸本体を吊込み、上レールのかかりを確認してください。

※プレフィニッシュボンドは、つけすぎではみ出さないようにしてください。



②鴨居・敷居はレール溝からねじ止めおよび釘止めした後、ブラレールの両側にプレフィニッシュボンドをつけて、溝にはめ込みます。

③釘は、端部より100mm離し、350mmピッチでプレフィニッシュボンドと併用して取付けてください。



■戸当り、ブラレールのコーナー部の納め方

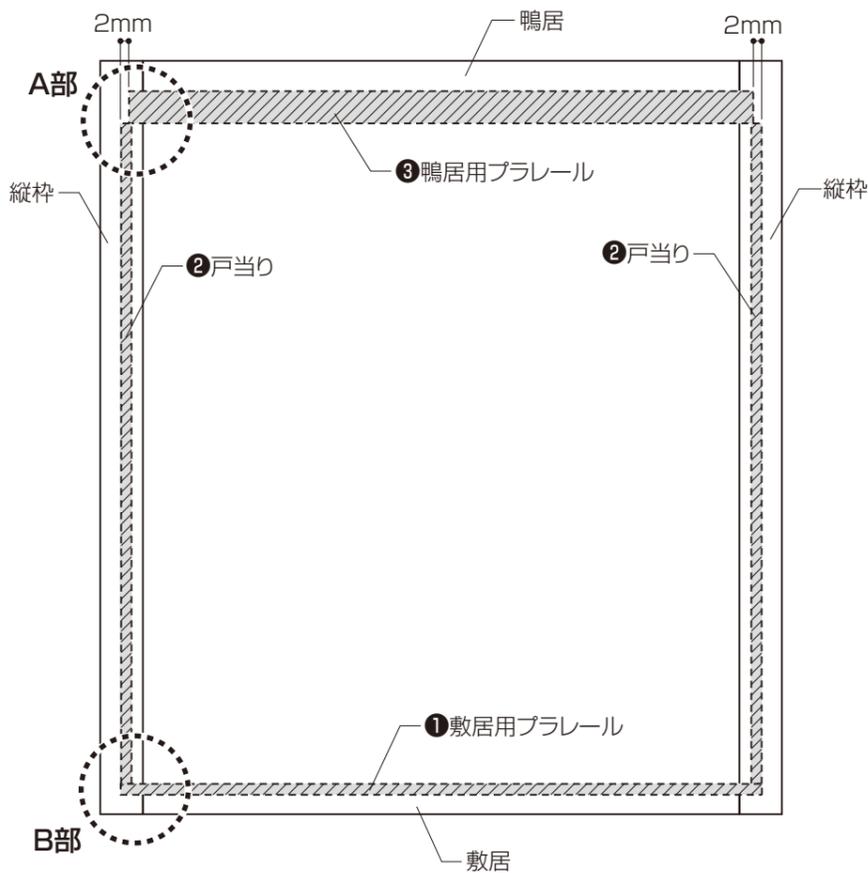
※戸当り、ブラレールは、下記の順序で取付けるとコーナー部がきれいに納まります。

①敷居用ブラレール

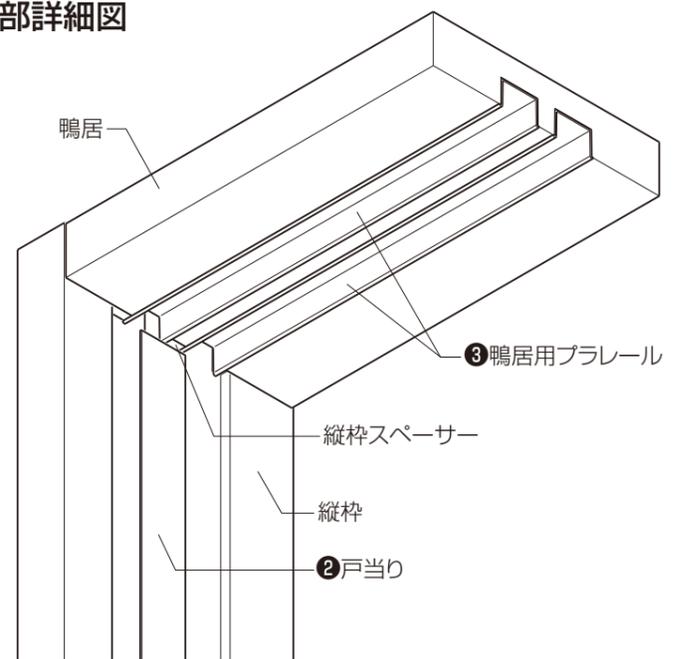
②戸当り

③鴨居用ブラレール

〔ブラレール、戸当り納まり図〕



■A部詳細図



■B部詳細図

